

平成26年度 事業報告

1. 文化創造事業

文化創造事業については、市民の運営を基本とするアトリエ設置条例に基づき、文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくりを理念に事業活動を行ってきた。

事業実施に当たっては「プラン推進会議」で計画を共有し、「ひとづくり」「魅力づくり」「芽づくり」「まちづくり」の各事業をスタッフが協調して積極的に行った。

多くの事業を通じ、出演者、スタッフ、参加者が一体となっていると感じた。アミーゴの施設は個性があり、他の施設では味わえない、愛着の持てる施設であることが実感できた。同時に文化施設の存在意義は、事業参加者とのコミュニケーションを通して地域に支持されることが重要であることも認識できた。

本年度はコンサートなどの来場者がやや少なく、収入面でも減少した。事業の内容、広報、価格設定など、様々な角度から今後の対応を検討したい。

事業別については下記のとおりである。

[指定管理における文化創造事業]

- ① 「ひとづくり」事業では、文化芸術に関心を持つ方、それを支えるスタッフなどを積極的に育てていく企画を行っている。「アート倶楽部」では、アートに関する歴史や鑑賞法などを学ぶという企画で、本年は「織物と着物」をテーマに実施した。その他、将来のディレクター候補の発掘と育成、公演などに当たって案内や誘導、終演後の撤収など運営に関わるスタッフの育成を行った。
- ② 「魅力づくり」事業では、「のこぎり屋根の音楽会～アフタヌーンコンサート～」で気軽な音楽機会を提供し、「アミーゴライブ」「狂言会」「落語会」「清元のいろは」「バースデーライブ」など上質な文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。サロン洋を活用した「アートサロン展」は6回開催した。地域産業である染織体験工房も継続して実施した。魅力あるアミーゴ、入間をアピールすることができた。
- ③ 「芽づくり」事業では、「ドラマ工房」「オペラ工房」「アート事業」などを実施した。「ドラマ工房」は、公募市民で作る「劇団アミーゴ」の稽古を通じ、10minシアターで国際交流協会や小中学生の授業の一環として公演を行った。オペラ工房は、市民オペラ合唱団とプロのソリストによるオペラ「パリアッチ」を上演し好評であった。アート事業では、大人対象の「アート講座」、子ども対象の「遊び場アートスタジオ」を実施した。
- ④ 「まちづくり」事業では、文化芸術を通じた地域との関係づくりを重視して「春フェス」「夏フェスタ」「秋まつり」を開催した。特に、「秋まつり」では、地域の中のアミーゴをアピールすることができ、多くの方の来場があり成果があった。「春フェス」は初めての取り組みで、11人のアーティストがホールや館庭を利用し展示とワークショップを行った。アミーゴの春をアートで楽しんだ。
その他、法人独自事業であるが、アウトリーチ事業として「狂言・落語の学校古典芸能鑑賞会」「公民館落語会」などを行った。例年、多くの要望があり、アミーゴで培った事業ノウハウを他施設に提供することができた。

[法人独自の文化創造事業]

指定管理業務である文化創造事業のほか、多くの NPO 法人独自の事業を行った。アウトリーチ事業として学校・公民館への狂言、落語、コンサート、NPO 団体への演劇などの鑑賞会を開催した。また、地域内の小中学校生徒がアミーゴに来て地域の歴史を劇団アミーゴの演劇を交え学んだ。アミーゴらしい手法で行うことができ好評であった。

2. 文化創造アトリエ施設管理事業（指定管理事業）

① 市民ニーズに対応した窓口サービスを心がけ、利用率の向上に努めた。

※施設の利用状況は別紙

② 来館者、利用者の安心安全の確保とアメニティー空間を確保するため、施設の修繕、備品の補充に努めた。

また、館庭美化のため、ガーデンボランティアによる除草作業を春から秋にかけて月 2 回程度行った。(ガーデンボランティア活動は別紙)

③ 希望する団体などに施設及び運営の説明を行った。(詳細は別紙)

3. 各種会議などの開催報告

※別紙にて報告。

4. その他活動報告

① 会員交流会の開催

・ 5/20 (火) 総会終了後に開催。事業のプレゼンテーションを行った。

② 役員、ディレクター、サブディレクター懇談会を開催した。(1/20)

③ 地域創造研修会へ 7 名の理事監事・事務局が参加した。(8/5～7)

④ 広報紙「赤いのこぎり屋根」を 5 回発行した。

⑤ 軽井沢方面へスタッフ研修会を実施した。(9/3)